

より快適で機能的な環境へ 高等学校「地塩館」、 大学「W3棟」を新たに建築

KMP21プランの一環である高等学校の新「地塩館」、大学の「W3棟」が現在建築中です。地塩館の竣工は2015年12月末、W3棟は2016年2月末を予定。いずれも生徒や学生たちの交流を促し、機能性や快適性を備えた施設となり、より充実した学びの環境へと変わっていきます。

21世紀の学びを育む建物へ

新しい地塩館は、榮光館・世光館と調和し、アーチ窓や曲線を用いた外壁ラインに女性らしさが表現されています。その中で21世紀の社会で貢献する女性を育てる教育活動が行われます。また新たに設置されるメディアライブラリーは、情報機器や探究型の授業に適した学習ゾーンを備え21世紀の学びの場の中心となります。そこでは生徒たちが集い、多様な情報にアクセスし意見を交換して、創造力と思考力を深めます。さらに普通教室にもインターネット、プロジェクターやスクリーンを完備。これによって授業での効果的な情報の提示が可能となり、生徒たちの思考をうながして自ら考え発信する主体的な学習者へと導きます。半世紀にわたって地の塩となる人材を育ててきた地塩館の、新たな歩みがはじまります。



金城学院高等学校 新地塩館(※イメージ写真)

【マスタープランコンセプト】

- ・多様な交流を促す教育環境の整備
- ・安全安心で学習に集中できる教育環境
- ・機能的で使いやすく、維持管理のしやすい施設



金城学院大学 新W3棟(※イメージ写真)

【マスタープランコンセプト】

- ・多様な交流を促す空間の創出
- ・安全で使いやすく、質の高い教育・研究環境の設備
- ・自然と共生する環境配慮型キャンパスの整備

人や自然、未来とつながる 新しいキャンパスに

大学西側キャンパスに現在建設中のW3棟は、「人をつなげる」「自然とつながる」「未来とつながる」「心をつなげる」がコンセプト。食堂を中心とした共用部分を充実し、学生の交流が図れるようにしています。5階建ての校舎には、生活環境学部の実習室や研究室、薬学部の自習室等を設置し、さらに充実した学びの環境を整備します。周辺校舎等へバリアフリーで移動することができるとともに、西側センターコートと一体感を持たせたピロティを設置し、キャンパス全体がつながりのある空間へと変わります。